血漿分画製量事業の現状

·日本製薬 株式会社 成田工場

・株式会社 ベネシス 京都工場

財団法人 化学及血清療法研究所 本所

社団法人 日本血液製剤協会・国内 3 社

財団法人 化学及血清療法研究所 日本製薬株式会社 株式会社ベネシス

血漿分画製剤のコスト構造

血漿分画製剤事業

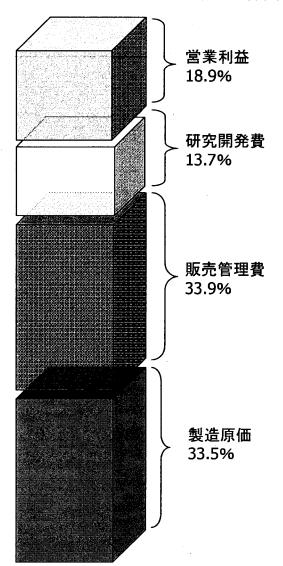
平成15年3月「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」資料より

市場縮小 営業利益 約10% 新薬は 研究開発費 期待薄 11~15% (安全対策関連 安全対策は を含む) 売上に直接 寄与しない 販売管理費 26~32% (安全対策関連 製造コスト構造の特徴 を含む) ・原料血漿購入費用が大きな 表征 信却者 割合を占める(原料血漿価格 =分画事業者のコスト削減努 労務費 力の及ばない部分) 製造原価 連産品であることによるコスト 53~57% 分散の非効率性(国内需要に (原料血漿費が 合わせた生産⇒未利用画分 約半分を占める) 原料血藥。 の発生) 腊人価格 ・安全対策強化のためのコスト ・安定供給のための在庫コスト

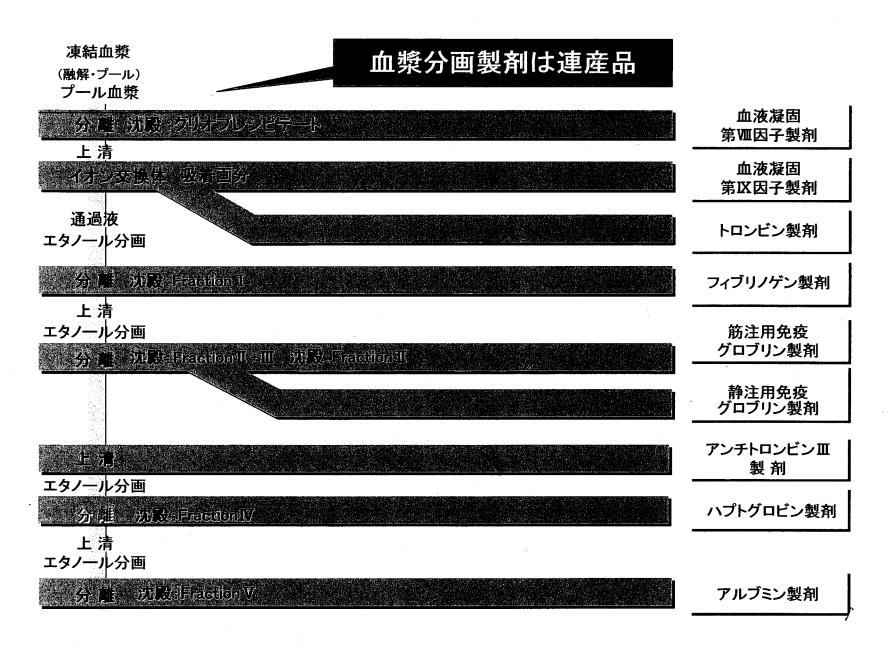
【参考】

医薬品事業(東証一部上場31社)

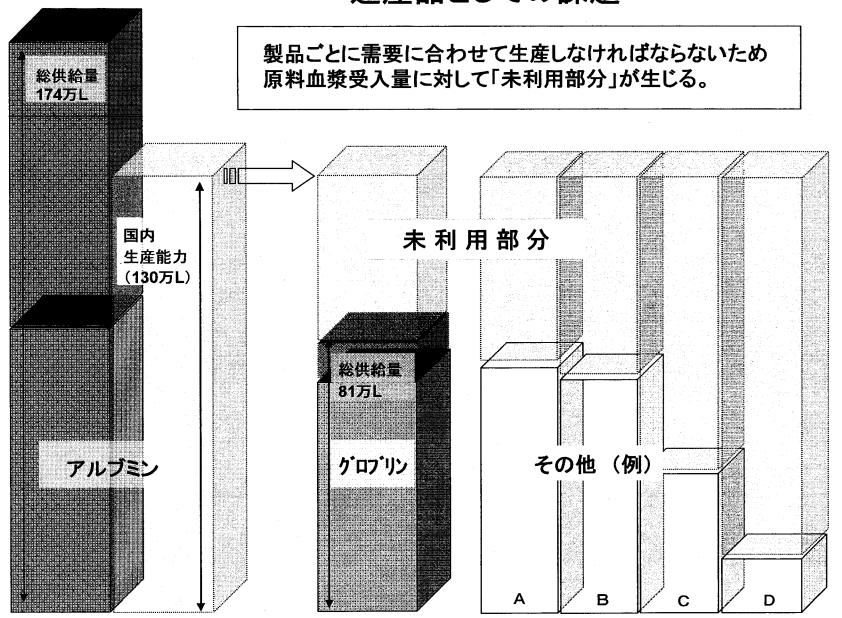
JPMA News Letter No.108 (2005年)より



血漿分画製剤製造工程概略(例)



連産品としての課題



(平成16年「第7回血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」 資料を参考にしたイメージ図)